

館長のガラストーク

富樫葉子「シロツメクサ」 2013 年

この作品の前を、作品を見ながら右から左に、そして左から右に歩いていくと、中の白い模様がアニメーションを見ているよう次々に変化します。これは板ガラスの裏側に描かれた絵柄が、表面に凹凸状（カマボコ状）の溝をつけることで、見る角度によって変化して見えるという「ガラスフォログラム」の技法で制作されたものです。

テーマはシロツメクサです。シロツメクサは比較的長い時間をかけて、中心から外側に向かって花びらが開いていきます。最後のひとひらが咲く頃には中心の花びらは枯れています。左右に動きながら作品を見る事で、その推移と循環を体験することが出来るというわけです。

この作品には、表側の透明な板ガラスと内側のグレーの板ガラスが2枚使っています。そのことで、模様の動きが1枚の時より、いっそう変化に富んだものになっています。

宮尾さんの作品もそうですが、何の変哲もない工業用の板ガラスを切って、模様を描いて、溝を彫って、重ねていくことで、ガラスにしかできない独創的な表現が達成されています。見る人を動かすということも含め、富樫さんの発想のユニークさが光る作品です。

妖精の森ガラス美術館 館長 畠山 耕造

＜展覧会情報＞冬期企画展 光のおにごっこー宮尾洋輔と富樫葉子のガラスアート展
2013年11月27日(水)～2014年3月31日(月)

□4月3日(水)から、岡山在住のガラス作家、有松啓介さんの動物をテーマにした作品展を開催します。どうぞご期待ください。

お問い合わせ先 妖精の森ガラス美術館 電話(0868)44-7888



この雪像は、2月1日に恩原高原スキー場で開催された第22回恩原高原氷紋まつりの開催に合わせ、氷紋まつりの特設ステージ上に製作されました。
かたみくくんは、終日賑わうゲレンデを見守っていました。

かたみくくんの雪像が登場



美作国建1300年



美作国キャラクター
「かたみくくん」

◆お問い合わせ先

〒708-0052 岡山県津山市田町37-5
美作建国1300年記念事業実行委員会 事務局
電話(0868)3534334 FAX(0868)3534335
E-mail: info@mimasaka1300.org/
http://www.mimasaka1300.org/